

医療・福祉

がん対策

都の特性生かした小児がん対策を推進

小児がんは種類が多い上、成長に伴う長期的な支援が必要です。そこで都は、25年度、専門ごとに高度な医療を提供できる医療機関が多い特性を生かし、協議会を設置して診療連携や支援体制などを具体的に検討します。

患者の就労継続支援で実態調査を実施へ

治療しながら仕事を続けることを望む、がん患者が多くなっています。このため都は、25年度に独自の実態調査を実施し、この結果も活用して、雇用継続などに関する事業主への啓発や病院の相談機能強化に取り組めます。

高齢者支援

安心の住まい整備を促す対策を実施

25年度、医療・介護施設併設の「サービス付き住宅」について、近隣の医療・介護サービス事業者と連携する場合も、都の補助対象とします。また、医療・介護連携型住宅のモデル事業を検証し、整備促進策を検討します。



重症心身障がい児・者

区市町村の在宅支援事業に新たな補助

重症心身障がい児・者の在宅生活を支えるため、25年度から、家族の休養や本人の健康保持を目的に、看護師が訪問して家族の代わりにケアを行う「在宅レスパイト事業」を、区市町村包括補助の事業に新たに加えます。



認知症対策

予防・改善に積極的な区市町村に支援

認知症の予防や改善で、さまざまな取り組みを進める区市町村があることから、25年度より、区市町村に対し、認知症予防や生活改善の事例を広く収集して情報提供するとともに、包括補助事業も活用して支援します。



小林健二 予算特別委員会で質問(3月14日)

若年性認知症への支援充実を

きめ細かな支援策を講じよ

○若年性認知症の方への支援の在り方は多岐にわたるので、きめ細かな支援策を講じていくよう主張。都からは「東京都認知症対策推進会議で論点整理を行っている。今後それぞれの論点に沿って支援策を検討していく」との答弁がありました。

さらなる普及啓発の推進を

○若年性認知症に対して理解を深めるために、社会全体に対するさらなる普及啓発に取り組んでいくべきと主張。都からは、「すでに作成している若年性認知症ハンドブックを今後改定の予定。また平成25年度に介護職員や産業医に向けてさらに理解を深めるための研修・講義を実施していく」との答弁がありました。

東京都若年性認知症総合支援センター
(専門のワンストップ相談窓口)

住所：目黒区碑文谷5-12-1 TS碑文谷ビル
電話：03-3713-8205
相談受付時間：平日午前9時から午後5時



とうきょう認知症ナビ

とうきょう認知症ナビ

検索



防災対策の強化を

防災公園の機能強化を

○都立公園の防災機能の強化と都立公園を活用した地域住民主体の防災訓練の実施を主張。

○新たに練馬区に防災公園として計画されている



かまどベンチ



災害用トイレ

都立練馬城址公園の整備にあたっては、地元区・地域住民と綿密に調整を図って整備計画を策定するよう主張。

※練馬区内にある4か所の都立公園(光が丘・石神井・城北中央・大泉中央)はいずれも防災公園として位置づけられています。

消火栓設置場所の情報提供を

○消火栓を活用した応急給水体制の推進にあたっては、都としても消火栓の設置場所の情報を地域住民に提供していくよう主張。



消火栓を活用した応急給水

防災ポータルサイトが開設

○都議会公明党が提案した防災ポータルサイトが3月より提供開始。スマートフォンやタブレット端末に対応し、防災マップや災害用伝言版、鉄道・道路情報など使用頻度の高いコンテンツを提供。

東京都議会インターネット中継 <http://www.gikai.metro.tokyo.jp/live/>